

# 世界に広めたい 盆栽の技術

静岡の職人 漆畑さん

世界中に「盆栽」の文化を広めたい。静岡市駿河区の盆栽職人漆畑信市さん(64)は海

## “留学生”を指導

大道芸W杯で  
成果披露へ



外から研修生を積極的に受け入れ、盆栽の技術を伝えていく。漆畑さんと研修生は4日から同市で始まる大道芸ワールドカップでアースを出演する。盆栽技術の披露に向けて漆畑さんの指導にも熱がこもる。

漆畑さんは盆栽を世界中に広めるためには、各地に指導者がいる必要があると考えた。5年ほど前から研修生の受け入れを始め、技術の伝承に努めている。

漆畑さんは盆栽の剪定(せんでい)技術や魅力を引き出す飾り方などを3カ月かけて研修生に指導する。同時に、日本の

研修生に盆栽の手入れの指導を行う漆畑さん(中央) 静岡市駿河区

生活様式への理解を深めてもらうために、あいさつなどの礼儀作法も教えている。

これまでに約40人が漆畑さんの教えを受け、中には母国に戻って教室を開き、指導に当たる研修生もいるという。

現在、漆畑さんはスペイン人のマニエル・ヘルマデさん(27)、イタリア人のタニエル・アバテさん(33)、ポランド人のトム・ポプロさん(33)の3人を指導している。漆畑さんは3人について「盆栽の基礎的な技術を身に付けている。のみ込みが早い」と話す。

漆畑さんらは大道芸ワールドカップで、来場者の前で盆栽の手入れを披露する。漆畑さんは「盆栽は手を入れる前と後では全く別物になる。変化